

中小企業ホットライン

中小企業を取り巻く環境は常に変化している。企業が直面すると思われる経営課題に関する情報をタイムリーに提供するために、中小機構は「虎ノ門セミナー」を開催している。

原則、毎月1～2回（年間約18回）のペースで開かれ、会場は中小機構セミナールーム（東京・虎ノ門）。聴講は無料。定員は50人（申込先着順）。

これまで、「コーズマーケティングの実際—社会貢献・共生指向な経営戦略への転換」や「商品開発における異



文化対応カーローカリゼーションマップの視点と取り組み」=写真=などをテーマに開催してきた。論文風で難しく感じるが、専門家が優しくかみ砕い

「虎ノ門セミナー」で経営課題提起

て課題を投げかける。

次回10月13日のタイトルは「ファミリービジネス論から見た中小企業の課題」。講師は、日本経済大学東京渋谷キャンパスの後藤俊夫教授が務める。

創業者一族の影響下にある企業は、欧米諸国を含めて一般的に「ファミリービジネス」と呼ばれている。わが国企業の97%を占め、常用雇用者の3分の2を雇っているファミリービジネスの特徴を分析。東日本大震災の被災企

業を視察し、支援に乗り出した後藤氏が見たファミリービジネスの強さと課題を示す。その上で、ファミリービジネスが地域活性化に果たす役割について問題を提起する。

今後のスケジュール、申し込みなど詳しくはホームページ（<http://www.smri.go.jp/jinzai/tokutei/index.html>）で。

（独立行政法人中小企業基盤整備機構）